

機 巢

メールマガジン



Vol. 2 臨時特集号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 同窓会報

2016年4月15日発行 機巢 増刊号

目次

- P-2～4 35周年同窓会報告 機巢会会長 中野 廣幸（4期生）
- P-5 機械工学科の現状 岐阜高専 教授 山田 実（24期生）
- P-6 機巢会活動への想い 副会長 桑原喜代和（1期生）
- P-7 平成28年度 中核人材育成塾 基礎コース （資料）
- P-8 平成28年度 中核人材育成塾 アドバンスコース （資料）
- P-9 機巢会メールマガジンへの登録のお願い

編集後記

35周年同窓会の報告

機巢会会長

中野 廣幸

岐阜高専・機巢会35周年同窓会が平成28年3月5日（金）にホテルグランバール岐山で開催されました。多くのご来賓にお越しいただくとともに卒業生117人の出席を得て、懐かしい雰囲気の中ではじまりました。



受付風景



司会の桑原麻美さん（OBのお嬢様、71-アウカサ-）



開会の挨拶



挨拶をする中野会長



来賓の機械工学科教授 加藤先生



初代事務局長 大野武久先生(2期)への感謝状

式典では、会長挨拶に続き、来賓の加藤先生よりご祝辞をいただき、特に今回は、機楽会の設立当初から事務局長として機楽会運営に大変お世話になった故大野先生に対し、その業績をたたえとともに感謝の意をこめて、感謝状を贈呈させていただきました。

その後、橋浦先生から岐阜高専機械工学科の35年間を振り返った内容のご講演をいただき、山田先生から現在の岐阜高専の様子を説明していただきました。また機楽会副会長の桑原さんから、岐阜高専OBが現在岐阜高専と一緒に取り組んでいる『岐阜高専産学連携アドバイザー』活動等の紹介がありました。



記念講演をされる橋浦先生



橋浦先生と花束贈呈をもらった村澤杏樹さん(45期)



講演を熱心に聴く同窓生



学校紹介中の山田先生(24期)



産学連携の取組みを説明する2代目会長の桑原さん(1期)



乾杯の音頭を取る初代会長の井坂さん(1期)

第2部は機楽会初代会長の井坂さんの乾杯で始まりました。

パーティの中で、今回機関紙として新しく発行するメールマガジンの編集委員が紹介されました。またその表紙を飾る躍動するMをイメージした原画が披露され、デザインをいただいた青木年広画伯をご紹介するとともに、青木画伯に感謝状を贈呈させていただきました。またパーティの中では、青木画伯からいただいた記念品を獲得するじゃんけんゲームをするなど、終始和気あいあいとしたムードの中で岐阜高専・機楽会 35周年同窓会を開くことができました。



メルマガの表紙をデザインされた青木画伯(右から2人目)



機楽会役員

この機会に同窓生のネットワークを強固なものにし、お互いの情報を密にして、新しいビジネスの創造等、社会の発展に繋げていきたいと考えます。

機械工学科の現状について

機械工学科長 山田実

4月になり中庭にある枝垂れ柳が満開となりました。3月18日(金)には卒業式、4月3日(日)には入学式がありましたので、今回は昨年度の卒業状況、今年度の入学状況について紹介したいと思います。



枝垂れ柳

【卒業状況】

平成27年度の卒業生は37名(うち女子3名)でした。進路は就職が20名、進学が17名でした。進路先は表1のようになっています。

表1 平成27年度進路状況

就職先	マルイ工業、CKD、東海旅客鉄道、サントリープロダクツ木曾川工場、アイコクアルファ、オークマ、ナブテスコ岐阜工場、オムロン、ジャパンマリンユナイテッド、東邦ガス、日本特殊陶業、テバ製薬、トヨタプロダクションエンジニアリング、中部電力、東亜合成、西島製作所、東海交通機械、神鋼造機、川重岐阜エンジニアリング、山崎製パン(求人件数529件)
進学先	専攻科、岐阜大学、豊橋技術科学大学、三重大学、中日本航空専門学校

就職先は従来通り、自動車、重工関係、飛行機、鉄道、工作機械、電力、ガス関係などの企業が多いです。最近では食品やインフラ、製薬関係も増えています。直接機械を設計・製作しているところ以外にも食品や薬といったものを生産していたり、操業上機械の保守・管理が必要であったりと機械工学科出身の学生が活躍する場は広く存在しています。学生には大企業にとどまらず、優れた技術をもつ中小企業などにも広い視野を持って就職して欲しいと願っています。

進学先は東海圏のみの大学・専門学校となりました。実は東海圏以外の大学も受験しているのですが今年は縁がなかったようです。高専生はいくつかの大学を編入学受験できるというメリットを生かして旧帝大などもチャレンジしてもらいたいです。



平成27年度卒業式(卒業生と保護者。中央下は第5学年担任の小栗先生。)

【入学状況】

平成28年度機械工学科には42名(うち女子4名)が入学しました。推薦入学者は13名、学力志願者57名、そのうち29名が学力合格者です。したがって学力試験のみの倍率は1.97倍、40名定員に対する倍率は1.75倍です。学校全体では1.73倍で、これは昨年度よりは増加していますが、ここ5年間でみるとほぼ横ばいです。

高専も創立50年を越え、親子2代で高専生という方も多く見えます。卒業生の方が各方面で活躍されているのが一番のPRかとおもいますが、今後とも高専の広報活動にご協力をお願いいたします。

機巢会活動への想い

副会長 1期生 桑原喜代和

3月5日、機巢会35周年同窓会を盛大に行うことができ、主催者側としては感無量です。1968年、私たち1期生の卒業から始まった機械工学科卒業生の同窓会が、1980年になって機巢会という名前で活動を始めてから35年が経過し、ようやく全ての卒業生が集まる同窓会を開催することができました。

1984年に第2代機巢会の会長として同窓会誌“機巢”第2号を発行したのを思い出します。昨年末に亡くなられた大野武久先生が書かれた編集後記には、オリンピック開催年毎に同窓会誌“機巢”を発行することになっていると書かれています。リオ・オリンピックの年になってようやく同窓会を開催し、メルマガの“機巢”を発行することができたことに因縁を感じています。



長い間、仕事と家庭に忙殺される生活が続き、機巢会のことを思い出すことはありませんでしたが、2009年の秋、電気工学科の同級生からの連絡を受けました。60歳を越えてからの1年半の会社勤めを辞めて自由な生活を始めた頃でした。彼らは、岐阜高専の創立50周年に向けて、学校や地元への奉仕活動を計画しており、一緒に活動してもらいたいとのことであり、快諾しました。翌年、岐阜県からの委託で地元企業の人材を育成するための研修事業を4人で始め、その後、規模を拡大しつつ、「中核人材育成塾」を続けて

います。6年目になる昨年度も多く申し込みを受けました。また、岐阜県や大垣、土岐商工会議所での研修会の講師の依頼を受けています。

現在、機械と電気の10人のOBで運営している「中核人材育成塾」には、もっと新しいメンバーを加え、研修のテーマを増やしたり、活動の場を拡大したりしたいと考えています。更には地元企業との連携を深め、Uターンの受け皿作りもできればと考えています。毎月、学校に集まり、運営会議をしており、「中核人材育成塾」は学校の図書館で開催しています。見に来てもらい、参画して下さい。

現役中、橋浦先生に声を掛けていただき、「生産工学」の非常勤講師をさせていただきました。その後、自社内の機巢会会員に引き継いで来ましたが、3年前、会社からの講師の派遣が中止されたため、再登板して次の人を待っていました。35周年へ向けての機巢会活動の中で引き継げる方が見つかれば、今年度からはようやく交代できるようになりました。次々と引き継いでもらいたいと願っています。

同窓会にて来賓挨拶をしていただいた加藤浩三先生は機巢会と帰巢について話されました。社会へ巣立った卒業生が60歳、65歳を迎え、岐阜高専の機械工学科の巣へ戻る世代になっています。機巢会活動では、メルマガをベースにしてさまざまな情報交換と親睦の場を作りますが、研修事業や非常勤講師のような活躍の場も提供したいと思っています。機巢会の役員やメルマガの編集委員の業務にももっとパワーが必要です。

現役で役員や委員をしてもらっている人達を支援するためにも、自由時間ができ、地元へ戻って何かやってみようと思っている方、是非、機巢会の活動に参加して下さい。

平成28年度

岐阜高専地域連携協力会・岐阜高専

中核人材育成塾

基礎コース

全6回

ものづくりの現場では、生産性の向上と同時に高品質・低コスト・短納期を達成することが求められており、これらに対してリーダーシップを発揮して挑戦する“中核人材”の育成が重要な課題となっています。「基礎コース」では、ものづくりを支える基本的な考え方と活動のしかたを講義と演習を交え、わかりやすく解説します。

本研修は、岐阜高専OBのベテラン講師陣が平成22年度から継続開催しており、受講者の方々から「実践的で分かりやすい」とご好評をいただいています。なお、8月から10月には、より深く専門性を磨いていただく研修として、「アドバンスコース」を用意しています。

第1回 初歩からはじめる 品質活動

平成28年
4月21日(木)開催

第2回 5Sと見える管理で 理想の工場づくり

平成28年
5月12日(木)開催

第3回 環境問題への取り組みと 省エネ(前半) 廃棄物処理と製造現場 の役割(後半)

平成28年
5月26日(木)開催

全ての研修に
演習があります



8~10月開催の
専門知識を深める
「アドバンスコース」は
6月上旬募集開始

第4回 製造現場における 問題解決手順

平成28年
6月9日(木)開催

第5回 トヨタ流モノづくりの 基本と実践

平成28年
6月23日(木)開催

第6回 計数感覚とコスト意識を 高める

平成28年
7月7日(木)開催

対象	ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様	経験年数5~10年程度
定員	各講座 30名（1社複数名も可） 6回通しでのご参加が基本ですが、講座単位の受講も可能です	
時間	9:30~16:30 6時間（9:00から受付）	
会場	岐阜工業高等専門学校 図書館内 多目的ホール・ビデオルーム	
講師	ものづくりについての豊富な経験や知識を有する「岐阜高専産学官連携アドバイザー」（岐阜高専OB）が務めます	
参加費	各講座共、1講座につき1名 8,000円（地域連携協力会会員は5,000円） 受講申込と同時に協力会入会（年会費10,000円、但し、入会時年会費は入会月から11月末までの月数×1,000円）の場合は会員価格を適用します	
詳細	岐阜高専地域連携協力会HP http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/chikirenkei/	

申し込み期限 平成28年 3月23日(水) 必着

申し込み方法 裏面の申込書(上記HPからダウンロードも可能)にご記入の上、FAX(またはEメールに添付)で送付をお願いします

平成28年度

岐阜高専地域連携協力会・岐阜高専

中核人材育成塾

アドバンスコース

全6回

「中核人材育成塾」は平成22年度から開講し、毎回ご好評いただいで継続してきました。受講者や経営者の方々からのご要望にお応えし、より専門性を深めていただく「アドバンスコース」を開講します。“ものづくり現場”が直面するさまざまな課題について、身近な事例と演習を交えて分かりやすく解説します。日頃、現場を引っばって強い工場づくりに挑んでおられるリーダーや管理者の方々の参加をお待ちしております。

第1回
人を育てる
QC的な見方・考え方
平成28年
8月4日(木)開催

第4回
活き活きとした
職場の作り方
平成28年
9月15日(木)開催

第2回
ものづくりの仕組みと
生産管理の要点
平成28年
8月18日(木)開催

第5回
役にたつ原価と採算の話
平成28年
9月29日(木)開催

第3回
安全行動力を育てる
平成28年
9月1日(木)開催

第6回
新製品・新製品の
垂直立上げ手法(前半)
生産設備改善による
コスト削減(後半)
平成28年
10月13日(木)開催

全ての研修に
演習があります

岐阜高専



対象	ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様	経験年数10年程度以上
定員	各講座 20名（1社複数名も可）	
時間	9:30～16:30	6時間（9:00から受付）
会場	岐阜工業高等専門学校 図書館内 多目的ホール・ビデオルーム	
講師	ものづくりについての豊富な経験や知識を有する「岐阜高専産学官連携アドバイザー」（岐阜高専OB）が務めます	
参加費	各講座共、1講座につき1名 8,000円（地域連携協力会会員は 5,000円）	
	受講申込と同時に協力会入会（年会費10,000円、但し、入会時年会費は入会月から11月末までの月数×1,000円）の場合は会員価格を適用します	
詳細	岐阜高専地域連携協力会HP http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/chikirenkei/	

<ご参考> この「アドバンスコース」は6月初めに正式募集のご案内をいたします

機巢会メールマガジンへの登録のお願い

機巢会では同窓会報として機巢会メールマガジンを発行しています。下記からメールアドレスを登録していただくとメールマガジン発行のお知らせや同窓会に関する案内をメールで受け取ることができます。ぜひ登録して下さい。また、お知り合いの方へ登録の紹介をお願いします。

登録フォームはこちらです。

<https://i-magazine.jp/bm/p/f/tf.php?id=kaiho>
あるいは
「機巢会 メールマガジン」で検索

なお、機巢会メールマガジンは機巢会ホームページからいつでも見ることができます。

【機巢】岐阜高専 機械工学科卒業生向けメールマガ

こちらより登録・解除を行っていただけます。
E-mailアドレスを入力し、ご希望内容のボタンをお押し下さい。

登録 解除 編集

「岐阜高専ホームページ」→「学科・専攻科」→
「機械工学科」→「機巢会（同窓会）」

登録画面

http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/mail_magazine.html



編集後記

機巢会同窓会報を発刊するに当たって、メール配信をすることにしました。経費をかけない手作りの会報になりました。郵送を希望される方にはプリントして送付することも考えています。ご希望の方は申し出ください。

そして多くの方からの原稿をお待ちしております。近況・旅行記・体験談・身近なニュースをお寄せください。

編集者：6M 太田哲也「35周年同窓会が無事終了してホッとしていたところ、『増刊号を出そう』と提案があり、早速編集に取り掛かりました。原稿さえあれば作成は楽しい作業です。多くの皆さんに読んでいただけることを期待しています。また感想や近況の原稿を送っていただければ嬉しいです。」

8M 犬飼宏好「急に発刊することになった同窓会の臨時特集号。急ごしらえですが、出来栄は良いと自画自賛しています。今回参加できなかった方々も同窓会の雰囲気を感じてもらえるでしょう。」

15M 中尾賢治「35周年同窓会に来られた方が皆さん満足された様子、編集委員としても嬉しい限りです。」

24M 山田実「沖津元校長の記念樹である枝垂れ柳が今年も見事に咲きました。この花を見るといつも新学期が始まるという気持ちになります。」

33M 伊藤友裕「第2号発行の運びとなり、同窓会の一つの形として本誌を通じて同窓会を盛り上げていけると良いなと思う今日この頃です。」

発行日／2016年4月15日

責任者／中野廣幸

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343 FAX 058-320-1349

<http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/ob.html>